

2016年7－9月期四半期別GDP速報（1次QE）  
公表に際しての石原経済財政政策担当大臣談話

2016年11月14日（月）

1. 本日公表した2016年7－9月期GDP速報では、実質成長率は前期比0.5%、年率に換算すると2.2%、前年同期比0.9%となった。

名目成長率は、前期比0.2%、前年同期比0.8%となった。

また、海外での稼ぎ等も含めた我が国全体の所得（国民総所得、GNI）は、実質ベースで見ると、前期比0.3%、前年同期比1.2%となった。

個人消費は台風の影響等により小幅のプラスにとどまるなか、住宅投資が増加した。また、電子部品等を中心に輸出が増加したこと等により外需はプラスとなった。

我が国経済の現状については、このところ弱さもみられるが、雇用・所得環境の改善が続いており、緩やかな回復基調が続いていると認識している。

2. 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、「未来への投資を実現する経済対策」などの各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクや、海外経済の不確実性の高まり、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

3. 政府は、「未来への投資を実現する経済対策」の各施策を円滑かつ着実に実施することにより、当面の需要喚起だけでなく、民需主導の持続的な経済成長と、一億総活躍社会の着実な実現につなげてまいりたい。

（以上）